

教育長室から

こんにちは。津山市教育委員会教育長の 有本明彦 です。住民の皆様におかれましては、日頃から本市の教育行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。



本市の子どもたちは、年々自己肯定感の醸成が図られ、小学生の学力は向上しつつあると認識をしています。その背景には、小学校の授業が以前のような教え込みの授業から児童が主体的に考える授業に変わってきています。

令和6年度は、本市の次の課題である「**中学生の学力向上**」「**多様な学びの保障（不登校対策）**」「**郷土愛の更なる醸成**」について、住民の皆様や学校関係者との対話をさらに深めながら、重点的に取組を推進してまいります。

さて、子どもたちが、今日の複雑で目まぐるしく変化する時代を、たくましく生きていくためには、主体的に考える力（思考力・創造力・課題解決力・説明力等）を身につけることが大変重要になっています。こうした力は、学校だけでは育まれるものではなく、地域社会とのつながりや身近な大人との多くの関わり、様々な体験を積み重ねることを通して育まれるものと考えます。

本市では、本年度から地域住民や保護者が一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みであるコミュニティ・スクール（学校運営協議会）が全校実施となります。「どんな子どもたちを育てたいのか」「どのような学校を創りたいのか」「学校が抱える課題は何で、どう解決していくのか」等について、地域の皆様と学校が熟議（対話・協議）し協働することで、困難な課題をも解決できると期待しています。

そして、これらの取組を着実に進め、誰もが誇りと愛着が持てる学校を地域一体で創り上げるとともに、将来に希望をもった自立できる人づくりに尽力してまいります。住民の皆様には、本年度も一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和6年4月



津山市教育委員会
教育長 有本 明彦